



12日に発表会を終えました。たくさんの人に見られる経験をするため、また友達の取り組み姿を見てよかったところを言葉で相手に分かるように伝える経験をするために、発表会の取組を互いに見合いました。「〇〇くんがかっこよかったです」「〇〇ちゃんが、先生をよく見て楽器をしていたからよかったです」と伝えるようになりました。そら組は1年生に劇を、5年生に合奏と歌を見てもらい、アドバイスをもらいました。

遊戯室で発表会ごっこが始まりました。他のクラスの発表を客として見に行った子どもたちは、劇の展開、せりふ、使ったことのない楽器にあこがれの気持ちをもっています。衣装を貸してもらって演じる人になったり、隣に立ってせりふを教えたり、客になったりしてそれぞれが発表会ごっこに参加しています。



【はな組 3匹のやぎのがらがらどん】ほし組が、せりふをよく覚えていて進めていきます。草をおいしそうに食べたり、足音高らかに橋を渡ったり、最後の踊りもよく覚えていて客の幼児も一緒に踊りました。



【ほし組 おおかみと7匹のこやぎ ~ほし組バージョン~】1番人気はおかみでした。おおかみだとばれて言うせりふがお気に入りです。最後の踊りは見ていた子どもたちも出て来てこんなに大きな輪に。



【そら組 ももたろう】月曜日から広い遊戯室を船が進んでいき、ほし組とはな組は乗って遊びました。そして剣がほしいというほし組とはな組のためにそら組は「剣工場」になりました。クラスが違って思いが言える、受け入れることができる人間関係になるといいなと思います。



#### 【歩く力と危険を判断する力を育てるためにお願い】

二学期は園外保育に多く出掛け、いろいろな体験をすることができました。歩く中で、笛が鳴ったら壁ぺたんする(一列になり、壁等に背中をつけて車を見る)ことはできるようになりました。反面、前の人と同じスピードで歩く(手を伸ばしたら前の人の中やリュックサックに触れるくらいの間隔で歩くよう指導しています)、遅れたら急ぐ、道の端を歩く、縁石の上を歩かない等は、課題です。自家用車での通園だと思いますが、ご家庭でもお子さんと散歩をしながら、また幼稚園前の交差点で、横断歩道は必ず止まって確認し「あそこに車が来ているけれど渡れる? 待ったほうがいい?」とお子さんに尋ねたり、大人がモデルとしてやり方を見せたりしていただきたいと思います。よろしく願います。

行事の多い二学期でしたが、保護者の方のご協力のお陰で、一つひとつの行事を無事に終えることができました。子どもたちは、いろいろな経験を通して、自信をつけています。そら組は、できるようになりたいと思うこと(一輪車、フラフープ、短縄等)に根気強く取り組み、できるようになるうれしさを味わっています。その姿を見ていたほし組は同じように取り組み、何人も一輪車に乗れるようになりました。そら組は、すごい勢いで相手のしっぽを取ったり宝を奪ったりする遊びを楽しみ、ほし組とはな組は、それぞれのスピードでしっぽ取りやばなな鬼を楽しんでいます。卒業・進級まで3か月、子どもたちの成長をしっかりと支えていきたいと思ひます。ご家族おそろいでよいお年を迎えられますよう願っております。